答え 4月20日 今日は何の日クイズ

赤い字が答えです



郵政記念日にちなんで「手紙と切手クイズ」

【第1問】日本で郵便の制度が始まったのは、どの時代？

① 江戸時代　② 明治時代　③ 大正時代

1871年（明治4年）、東京・京都・大阪の間で始まりました。それまでは「飛脚（ひきゃく）」が手紙を運んでいました。

【第2問】「日本の郵便の父」と呼ばれ、1円切手にえがかれている人は？

① 渋沢栄一　② 福沢諭吉　③ 前島密

前島密（まえじま ひそか）です。「郵便」「切手」という言葉も、前島がつくったといわれています。

【第3問】郵便番号が、いまの7けたになったのは？

① 昭和43年　② 平成10年　③ 平成30年

1998年（平成10年）です。郵便番号は1968年（昭和43年）に3けたと5けたで始まり、7けたで町の名前まで分かるようになりました。

【第4問】暑中見舞いに使われた、くじつきはがきの名前は？

① かもめ～る　② つばめ～る　③ すずめ～る

夏の便りとして長く親しまれた、くじつきのはがきです。2020年（令和2年）の夏を最後に、残念ながら発行が終わりました。

【第5問】急ぎの郵便「速達」。あて名の面に引く線の色は？

① 青　② 緑　③ 赤

たて長の封筒なら右上に、よこ長なら右側に赤い線を引きます。ひと目で「急ぎ」と分かる目印です。

【第6問】たて長のはがきや封筒。切手をはるのはどこ？

① 左上　② 右上　③ 右下

たて長なら左上、よこ長なら右上にはります。決まった場所にはると、郵便局の機械で読み取りやすくなるといわれます。

ねらい： 記念日の話題から、知っていることを思い出します。
声かけ： 『「今日は何の日？」から、話を広げてみましょう』
メモ： 答えのあと、うんちくを読み上げると話が広がります。

まいにち元気プリント道場
プリントのダウンロードはこちら →

まいにち元気道場 監修 作業療法士 石田竜生
© 株式会社おふとん　施設・教室・ご家庭で自由にコピーしてお使いいただけます